

手話は言語

どうして手話は大切なの？

高齢障がい支援課 ☎(45)6289



手話で「お願いします」

手話は大切な言語

皆さんは「手話」という言語を知っていますか。そして、その手話を使って、生活している人たちがいることを知っていますか。

手話は、主にろう者などの聴覚に障がいのある方が使う「言語」で、指や体の動き、顔の表情などで、気持ちや考えを表現します。生まれつき耳が聞こえない、聞こえにくい人にとって手話は、日本語と同様に、コミュニケーション手段の一つであり、大切な言語です。

障がいの有無に関わらず、誰もが安心して生活を送るためには、お互いが理解し、助け合うことが必要です。今回の特集では、手話言語条例に込めた思いや聴覚に障がいのある方を支える皆さんの声などについて紹介します。手話を通して、ろう者への理解を広げ、誰もが住みやすいまちを実現するために、私たちにできることを考えてみましょう。

みんなに広めていきたい

「おはよう」などの簡単な手話をたくさん教えてもらいました。今後、街で手話を使っている人がいたら、声を掛けて、積極的に手話を使っていきたいです。あと、今日学んだことを家族や友達にも教えてあげたいなと思いました。

自分にもできることを

聴覚に障がいのある方とのコミュニケーション方法は、身ぶりや筆談など手話以外にもいろいろあることを学びました。それらは、今の自分にもできます。もし何か困っている人がいたら、自分にできるコミュニケーション方法を使って、手助けしていきたいです。



手話で「友達」



①手話で「上手」を表現している児童 ②日常で使える簡単な手話を教える土屋明美さん ③真剣な表情で手話を学ぶ児童ら ④ジェスチャーゲームに挑戦する児童 ⑤手話を教えてくれた土屋さんへ、最後にみんなで感謝の気持ちを込めた「拍手」



手話で「拍手」

福祉実践教室 in 共和西小学校

12月7日、共和西小学校で、小学4年生を対象に福祉実践教室が行われました。講師は、聴覚に障がいを持つ市内在住の土屋明美さん。耳が聞こえなくなった経緯とともに、日常生活で困っていることなどを伝えました。子どもたちは土屋さんから簡単な手話を学び、友達と確認しながら会話にチャレンジしました。

子どもたちの声

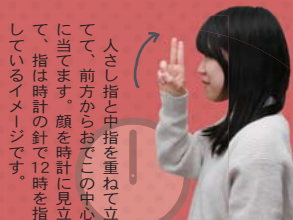
Let's try!! 手話であいさつしよう

おはよう



こめかみに当てた拳を下ろすと同時に頭を起こします。起きて枕を外すイメージです。

こんにちは



人さし指と中指を重ねて立てて、前方からおてこの中心に当てます。顔を時計に見立て、指は時計の針で12時を指しているイメージです。

こんばんは



手のひらを前に向けた両手を、弧を描いて目の前で交差させます。暗くなるイメージで夜を表現します。

Let's watch!!

手話動画

この他にもよく使われている手話を動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

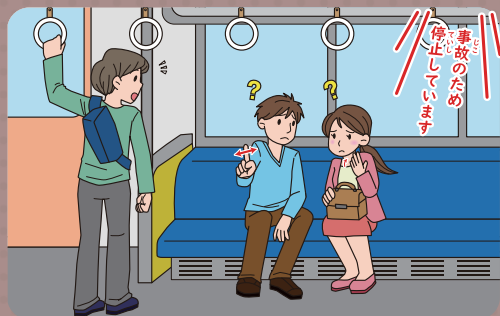


こんなときはどうするの？

耳が聞こえない人は、見た目だけでは分かりません。聞こえる人にとっての当たり前が、聞こえない人にとっての当たり前ではないこともあります。誰もが安心して暮らすことができる社会にするため、私たちができることを考えましょう。

Question 電車の放送が聞こえないのかな？

事故で電車が止まりました。手話で会話をしている人たちがいますが、電車内の放送が聞こえないので、とても不安な様子です。近くにいる男性は、2人にどうやって状況を伝えられるといいでしょうか。



Answer 目で見て分かるような説明を

手話が使えなくても大丈夫です。身ぶりや筆談など、目で見て理解できるように状況を伝えてあげてください。



Question 避難所で何か話しているけど…？

災害が発生して、近くの体育館に避難しました。係の人が食料配布についてお知らせしていますが、聞こえなくて不安な様子の男性がいます。みんなが安心するためには、どうしたらいいでしょうか。



Answer 少しの配慮が手助けになります

災害時、不安な気持ちを抱えているのはみんな一緒です。聞こえない人には手話や筆談で必要な情報を伝えたり、一緒に行動したりしてください。



花火の聞こえ方・感じ方はいろいろです

一言で聴覚障がいと言っても、聞こえ方・感じ方は人それぞれです。花火を例に、聞こえ方・感じ方の違いを見てみましょう。

ろう者

すごい振動を体を感じるなあ。きつとすごい音が鳴っているんだろうなあ。

中途失聴者

音は聞こえないけど、きつと「ドーン」と鳴っているんだろうなあ。

難聴者

はっきりとは聞こえないけど、花火が「ドーン」と鳴っているなあ。

Note

- ろう者 生まれつき耳が聞こえない人や日本語を覚える前に聞こえなくなった人
- 中途失聴者 生まれたときは聞こえていたが、事故や病気などによって聞こえなくなった人
- 難聴者 生まれつきや事故・病気などによって、特定の音域や音全体が聞こえにくくなった人

※聞こえ方の程度によって明確に定義されているわけではありません。

手話とは

Basics of Sign Language

手話は、指や体の動き、顔の表情などを使って目で見えるように表現する言語です。国によって言語が違うように、手話も国や地域によって違います。各言語と同じように、手話にも方言があります。

日本語と手話の文法の違い

手話には、日本語と語順が異なるなど、独自の文法があります。手話では、「の・は」などを使っていません。

日本語 あなた/の/好きな/スポーツ/は/何ですか？

手話 あなた/スポーツ/好き/何？

手話以外のコミュニケーション方法

聴覚に障がいのある方とのコミュニケーション方法は、手話以外にもいろいろあります。その人に合った会話の方法を選んで、組み合わせて使うと、より伝わりやすくなります。

- 指文字** 「あ」～「ん」までの50音を指の形で表す方法
- 筆談** 紙や手のひらなどに文字を書いて伝える方法
書くときは、短く、はっきり、丁寧に書きましょう
- 口話** 相手の口の動きを見て言葉を読み取ったり、口の動きで相手に伝えたりする方法
- 空書** 空中に文字を書いて伝える方法
書くときは、自分から見た向きで書きましょう
- 身ぶり** 手や体の動きを使って伝える方法
手話とは違い、動かし方に決まりはありません

指文字



Interviewees



市内在住のろう者の皆さん

佐藤 学さん 土屋 明美さん 坂本 雅子さん 下川 一也さん

これまでに苦労したことは？
佐藤 音声による情報が分からないことです。例えば、車の運転中に緊急車両が来てもサイレンの音が分からないので、ぶつかりそうになったことがあります。コロナ禍の今は、皆さんがマスクを着用していて口の形が読み取れず困っています。
土屋 私も同じで、前もって自分は今聞かせないと伝えますが、相手はマスクのまま話してくるので、口話が読み取れません。そこで筆談をお願いすると嫌な顔をされたことがありますが、状況はいろいろですが、また理解されていないと感じるときがあります。
下川 会社での話ですが、今までは会議の内容が分かりませんでした。今はUDトークという音声を文字変換するコミュニケーション支援アプリがあるので、誤字もありますが前よりは内容が分かるようになりました。

逆にうれしかったことは？
佐藤 ある日ATMで間違えて2枚のカードを重ねて入れてしまいました。「何かあれば電話してください」とインターホンがありますが、電話はかけられませんでした。困っていたら、後ろの方が声を掛けてくれて、代わりに電話してくれました。とても時間がかかったにもかかわらず、ずっと手伝わられてありがたかったです。
坂本 道で知らない人に声を掛けられたことがあり、私は聞かせませんと伝えたら、すぐにスマホを出して文字を打って見せてくれました。そのときの対応が素早く、とてもうれしかったです。
土屋 手話言語条例には市内在住のろう者の思いが詰まっています。条例を制定するにあたって、みんなで集まり、生活で困っていることや聞かせない人の気持ち、要望について、約半年間、話し合いを重ねてきました。実際に条例が制定されたときは感動しました。
佐藤 先ほどの坂本さんの話にあつたように、聞かせないと伝えたらすぐにスマホで対応してもらえらるよう、手話やろう者への理解が広まって、お互いに助け合える世の中になってほしいと思います。なので私

市民の皆さんへ一言
佐藤 困っているなと思ったら、勇気を出して声を掛けてほしいなと思います。
下川 ろう者の数は聞こえる人からすると圧倒的に少ないです。でも、手話という言語を持った同じ人間です。どこかで少しでも手話を使ってくれると、ろう者としてはとてもうれいですし、つながった気持ちになります。
土屋 市内小・中学校などで行う福祉実践教室で、子どもたちに手話を指導しています。いつも子どもたちに「言ひ覚えたことを家族のみんなに伝えてね」と呼び掛けている。手話への理解が広まるといいですね。
坂本 見た目は分からない障がいなので、ろう者に声掛けをして声では通じないときは、別のコミュニケーション方法を考えたらいいなと、さまざまなきがめを持っています。お互いに助け合いながら生きていけたらいいと思います。

手話言語条例に寄せる思い

手話言語条例を制定

手話は、日本語とは異なる語彙や文法を持つ独自の「言語」として、ろう者にとってお互いの気持ちを理解し合い、知識を蓄え、文化を想像するために必要なものとして、大切に育まれてきました。しかし、歴史的には、手話が言語として認められず、ろう者はつらい思いを経験してきました。そのような歴史を経て、「障害者の権利に関する条約」や「障害者基本法」において手話は言語であると明確に定められ、最近ではSDGsの推進もあり、多様性が評価され、障がいへの注目度は以前に増して高いものとなっています。しかし、今なお手話が言語であること、その手話を使用するろう者について理解する機会が少ないことに加え、手話を使用できる環境が十分に整備されていない

NOTE 手話言語条例とは
 ろう者にとって日常生活や社会生活を営む上で重要な言語は手話であることに鑑み、市・市民・事業者それぞれの責務や役割を定めた条例。この条例により、市民一人一人が手話について正しく理解し、ろう者が手話を使って安心して暮らせる社会の実現を目指していきます。

め、多くのろう者が日常生活や社会生活において不安や不便を感じています。
 そこで市は、令和2年4月1日に市内のろう者やボランティア団体と議論を重ね、「大府市手話言語条例」を制定しました。今回は、条例制定に携わった方々へ、当時の思いなどをインタビューしました。

Group Discussion!! Group Discussion!!

土屋 私の場合は、小・中学校は地元の学校に通っていました。高校生活になり、ろう学校へ行き、周りの人たちが手話で会話しているのを見て、驚きました。それから毎日同級生の手話を見て覚え、手話で会話をするようになりました。
坂本 私はろう学校ではなく、地元の学校に通っていました。私も口話で育ってきたので、手話を覚えたのは大学生の頃です。デイサービスのボランティアに行ったときにろう者がいて、その人が昔の手話を使っている、自分の手話とは違うし方だなと思いました。そのときに、手話は言語の一つだと気付きました。
下川 私は生まれつきろう者で、両親もろう者なので、手話を見て育ち、自然と身に付きました。ろう学校へ進学したとき、学校では手話は禁止と言われました。家族とは手話でスムーズに会話できているのに、学校では手話を否定して日本語を覚えさせようとしています。当然、先生の口話を読み取るのは難しく、100%理





手話奉仕員養成講座

聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚に障がいのある方の社会参加を支援する手話奉仕員を養成する講座を毎年開催しています。手話に興味のある方なら誰でも参加できます。初心者でも大歓迎。楽しく手話を学んで、みんなで一緒に手話で話しましょう。

Details

- ▶日時 例年6月頃から開催(入門 全20回・基礎 全23回)
- ▶場所 社会福祉協議会 ▶料金 無料(教材費別途)
- ◎社会福祉協議会 ☎(48)1805



VOICE ろう講師 島田 美和さん

今年の受講生は、手話に興味を持って家で自主的に勉強するなど、とても積極的な人が多かったです。初回は、皆さん表情が硬くなっていましたが、回数を重ねていくうちに徐々に表情が豊かになり、最後にはとても上手に手話ができるようになっていました。全部で20回の講座であったという間でしたが、皆さんの成長がとても素晴らしかったです。

VOICE 参加者 小林 いなさん

仕事で耳が聞こえない人を接客したときに筆談で対応したことがあります。そのときに、私も手話ができるようになればいいなと思って参加しました。私は中国人なので、講座を通して日本語の勉強にもなりました。とても楽しかったので、今後も引き続き、手話を勉強していきます。



VOICE 参加者 濱中 和善さん

病院で手話を使って会話をしているのを見かけて、私もろう者の方と手話で話して、通じ合えるようになりたいと思って参加しました。知多半島には、いろいろな手話サークルがあります。それらに積極的に参加して、多くの人と出会って、もっと手話の技術を高めていきたいです。



VOICE 山本 紀美江さん

聞こえる人と聞こえない人とをつなげることができるので、やりがいを感じています。聞こえない人たちは社会の中では少数で、生活の中で不安や不便を感じています。手話という言語があることが広まり、皆さんが少しでも手話を使えるようになるだけで、聞こえない人たちとのつながりを深めていくことができます。ぜひ、一人でも多くの人に手話を覚えてもらいたいです。とても魅力のある言語ですよ。

市役所で働く手話通訳者

聴覚に障がいのある方が、市役所の窓口で手続きなどをする際に、手話通訳をします。誰でも気軽に利用できます。

Details

- (月) 14:30~16:30
- (水) 17:15~19:15
- (金) 10:00~12:00



手話で「手話」



手話で「ありがとう」

VOICE 橋本 由美子さん

人と人との思いをつなぐ仕事であり、言語なので学習に終わりがありません。ろう者と耳が聞こえる人の気持ちや伝わった瞬間やありがとうの言葉をもらったときは、うれしいですね。理想は、聞こえる聞こえないに関係なく、目と目を合わせて直接コミュニケーションができる社会。皆さんにその方法を知ってもらいつつ、ろう者への理解や手話の魅力が広がることを願っています。

みんなが安心して暮らせるまちを目指して

VOICE 高齢障がい支援課 小野 裕弥

聴覚障がいをはじめとしたさまざまな障がいは、見た目だけでは判断できず、なかなか理解してもらえません。障がいのある方一人一人に必要な支援のあり方もさまざまで、どう支援したらいいのかわからないと思います。以前、ろう者から「手続きを行う際に、耳が聞こえないことを伝えたら、担当者が筆談で対応をしてくれて、うれしかった」という話を聞きました。このように、手話以外にもコミュニケーションができます。周囲で困っている方を見かけたら、まずは声を掛けて、自分にできる範囲の支援を行いましょう。

市は、これまでに手話紹介パンフレットの作成などを行ってきました。さらに、令和3年12月には、障がいのある方へのコミュニケーション手段の確保などを目的とした「大府市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を制定しました。こうした取り組みを通して、聴覚に障がいのある方への理解を深め、誰もが安心して暮らすことのできる、思いやりのあふれる大府市を目指していきます。

Check it out!!

手話紹介
パンフレット



Living Together

聴覚に障がいのある方と共に歩む皆さん

市では、手話や聴覚に障がいのある方のことをもっと知ってもらい、聞こえる人も聞こえない人も一緒に支え合うことで、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを目指して、さまざまな取り組みを行っています。ここでは、聴覚に障がいのある方と関わる団体や、市で取り組んでいる支援などを紹介します。



手話サークル すみれ

手話の勉強や手話を使ったゲームなどを通して、楽しみながら手話を学ぶサークルです。平成2年に発足し、現在の会員数はろう者も含めて36人です。サークル会員以外のろう者もお誘いして、一緒にクリスマス会や社会見学なども行つので、楽しく交流できますよ。大府手話カフェサロンの開催にも協力して、サークルとは違った交流の場となっています。この機会に簡単な手話から覚えてみませんか？ 手話に少しでも関心のある方は、ぜひ一度見学に来てください。

Details

- ▶日時 毎週(木) 10:00~12:00
- ▶場所 長草公民館 ◎社会福祉協議会 ☎(48)1805

VOICE 代表 佐藤 学さん

ろう者のことを知ってもらい、耳が聞こえる聞こえない関係なく、暮らしやすいまちをどうつくっていけばいいかを考えるきっかけになればいいなと思います。手話ができるできない関係なく、ろう者と交流ができる場なので、ぜひ遊びに来てください。笑顔で皆さんを歓迎しますよ。

大府手話カフェサロン かえるの手

地元のろう者が中心となって手話カフェサロンを開催しています。耳が聞こえる聞こえない、手話ができるできない関係なく、コミュニケーションの方法を工夫しながら誰もが楽しめるサロンです。サロンの通称である「かえるの手」には、オタマジャクシが大きくなって手が生えてくるのと同じように、聞こえない人との交流を重ねて、いろいろ学びながら共に成長していけたらという思いが込められています。

Details

- ▶日時 原則第3(日) 13:30~15:30 ▶場所 市役所 ▶料金 100円
- ◎手話カフェサロン実行委員会 ✉obu.yuwa.cafe@gmail.com FAX(89)6218

※新型コロナウイルスの影響により、3月までの開催を中止します。今回は、4/17(日)に開催予定です。



手話で「I Love You」

